



Pear Pair 通信 第36号

●お知らせ - 漫画「弟の夫」 -

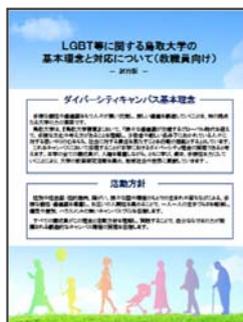
先日、本学にもお越しいただいた岡山大学大学院の中塚教授のお話を聞く機会があり、その中で、大学の入学試験で性的マイノリティの子どもへの対応を考える問題が出題されたことが紹介されました。その題材となったのが、漫画「弟の夫」。NHKでもドラマ化されていますが、LGBTを題材にしながらか心がほっこり温まるお話です。全4巻、推進室にて貸し出ししておりますので、是非一度お読みください。

この号の内容

- ◆お知らせ
- ◆活動報告① LGBT等に関する理解確認クイズを実施
- ◆活動報告② 大学入門ゼミで授業を行いました
- ◆活動報告③ 学生スタッフの活動をスタートします
- ◆この人へ聞く 桑原祐樹さん 助教
- ◆お役立ち情報 ダイバーシティセミナー(オンライン)開催のお知らせ

●活動報告① - LGBT等に関する理解確認クイズを実施-

eラーニングシステムmanabaを利用し、6月29日～7月31日までの約1ヵ月間「LGBT等に関する理解確認クイズ」を全教職員を対象に実施しました。



これは、リーフレット【LGBT等に関する鳥取大学の基本理念と対応について(教職員向け)】を4月に発行、リーフレットを読んでもらい、記載している配慮や対応について理解いただくために実施しました。

個人の結果(点数)が出てしまうことから、結果が評価に利用されるのではないかという不安や、「“男性はA、女性はB”など性別によるグループ分けに気をつける」という設問について、男女の性別を基準としたグループ分けは原則行わない。トランスジェンダーや、どちらの性でもないとする学生がいることに配慮して欲しいとの意味でしたが、グループ分けをするよう気をつけるとの意味にもとれ、わかりにくかったとのご指摘がありました。

LGBT等への考えや大学としての取組、必要改善点などの意見として、「このように考える機会、理解を深めるための研修会等を定期的実施すべき」、「どのような問題が現実的に発生するのか、どう教職員が対処していく必要が出てくるのか、具体的な事例の共有や勉強会(FD/SD)の実施」、「教職員に加えて、学生も学べる機会」など研修等の教育やLGBT等への理解の必要性を求める意見を多数いただきました。

また、3月に鳥取キャンパスの広報センターと附属図書館に設置したオールジェンダートイレを評価いただきました。オールジェンダートイレの増設やオールジェンダー専用のトイレ、更衣室、健康診断など、男性と女性が区別して行われるものに対して配慮を求める意見もありました。学生への呼び方については、「学生をさん付けすることに違和感があり、男性も女性もくんではダメなのか」「どう呼べばいいのか、大学として示してはどうか」などの意見をいただきました。

さらに、「LGBTだけでなくジェンダーも合わせて考えるべき」、「LGBTに限らず他の問題(外国人、同和、障がい者など)についても差別としない環境を整えるべき」、「相談窓口の周知や、書類の性別記載の見直し、特別視せず一人の人間として尊重すればいい」という意見もいただきました。

一方、「該当者と被該当者との利害が対立した際には、どのように対応すべきか」という不安の声もありました。

いただきましたご質問やご意見について、10月下旬から11月にオンラインにて実施を予定しておりますダイバーシティセミナーにおいて、講師よりご説明いただく予定としております。是非ご視聴をお願いいたします。

●活動報告② - 大学入門ゼミで授業を行いました-

地域学部地域創造コースの1年生を対象とした「大学入門ゼミ」において、コーディネーターが授業を行いました。

これは、ダイバーシティキャンパス推進室の紹介、設置目的や活動内容を説明することで、なぜこのような活動を行う必要があるのかを考えてもらい、ダイバーシティに関する理解を深めるために実施したものです。

授業では、ダイバーシティとは、男女共同参画とは（法律からみる国の動き）、本学における男女共同参画推進室の設置からダイバーシティキャンパス推進室への名称変更、現在行っている事業の紹介、相談対応や休憩室、学生スタッフの募集について話しをしました。



授業を受けた学生の感想を一部ご紹介します。

- ◆今回の講義では改めて性別による差別の現状について認識しました。「女性が社会で活躍するために」と様々な法が成立したとしても、日本人の根底にある「女性が家事や育児をしなければならない」という意識が変わらない限り女性の立場を向上することはできないのだと感じました。
- ◆現代においてダイバーシティ、つまり多様性が叫ばれる世の中において、今日の講義はとても知見を深めることができる良い機会となりました。人権や性の在り方が注目を受けてきた世の中において今日の講義で聞いた話の内容は頭に入れておかなければならないと感じました。昔からある女性に対してのある意味での偏見をなくしていかなければいけないと強く思いました。



●活動報告③ - 学生スタッフの活動をスタートします-

昨年、ダイバーシティキャンパス推進室へ名称を変更したことに合わせ、学生の意見を聞き、学生自身がキャンパスを変えていこうとする機運を高めるため、学生スタッフの募集を行ないましたが、残念ながら、昨年度は応募する学生も無く、活動は行えませんでした。

今年、地域学部で授業を行ったことをきっかけに、学生スタッフへの応募者があり、現在は学生が好きな時間に訪れ、推進室内で話す時間をもち、雑談のなかで、学生が興味のある問題をみつけている状況です。

今後は、活動日時を決め、推進室のイベントに関する意見や、テーマを決めて話す方向へ進めていきたいと思えます。

興味のある学生がいましたら、声かけをいただけますようお願いいたします。



- 多様な生き方を尊重しよう
- 偏見・差別・ハラスメントをなくそう
- ともに学ぶために
- 能力を発揮するために

性別・年齢・国籍…不問

申込み、お問い合わせは

ダイバーシティキャンパス推進室まで

★この人に聞く 桑原 祐樹さん 医学部医学科 助教

医学部環境予防医学分野の桑原祐樹です。現在は予防医学のための疫学研究に携わっています。2020年度から研究支援員制度を利用させていただいており、限られた教室のマンパワーで質の高い疫学研究を行う上で本制度には本当に助けていただいています。

また、自己研鑽や家族とのふれあいといったワークライフバランスに恵まれた職場環境に感謝しております。

以下の写真は、2019年度に英国に留学した際に仲良くなったイタリア出身のご家族と撮影しました。パートナーのキャリアや家族との時間を大切に、明るく楽しく生活されている他文化のワークライフバランス感覚に触れることは大きな学びになりました。

左端が
桑原さん



教室の先生方をはじめ、研究支援員の方、教室スタッフの方々のサポートのお陰で自分が大事にしたいものを意識しながら仕事をさせていただいています。貴重な経験や時間を大切に、自分の研究や教育のスキルを確立させていきたいと思っております。今後ともよろしくお祈りいたします。

★お役立ち情報 -ダイバーシティセミナー(オンライン)開催のお知らせ-

10月下旬から11月にかけて、ダイバーシティセミナーをオンラインにて開催を予定しています。内容は、2部に分け、1つは「大学における性的マイノリティ者に対する支援と配慮について」の講演、もう1つは、LGBT等に関する理念確認クイズにて、教職員の皆さまよりいただいたご質問やご意見に講師より答えていただくものです。

空いた時間、都合の良い時間に視聴いただけるよう、各30分程度で、どちらからでも、いずれか1つだけでもご覧いただけます。詳細は改めてご案内します。

講師：原 ミナ汰（はらみなた）氏
NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事
LGBT法連合会共同代表。

〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室（地域学部棟4階）

TEL: 0857-31-5769 または 内線2166

FAX: 0857-31-5797

Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp

HP: <https://www.tottori-u.ac.jp/5683.htm>

(※HPを移転・開設しました!)

室長：細井 由彦 理事

専任コーディネーター：長谷 順子（キャリアコンサルタント）



Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室